

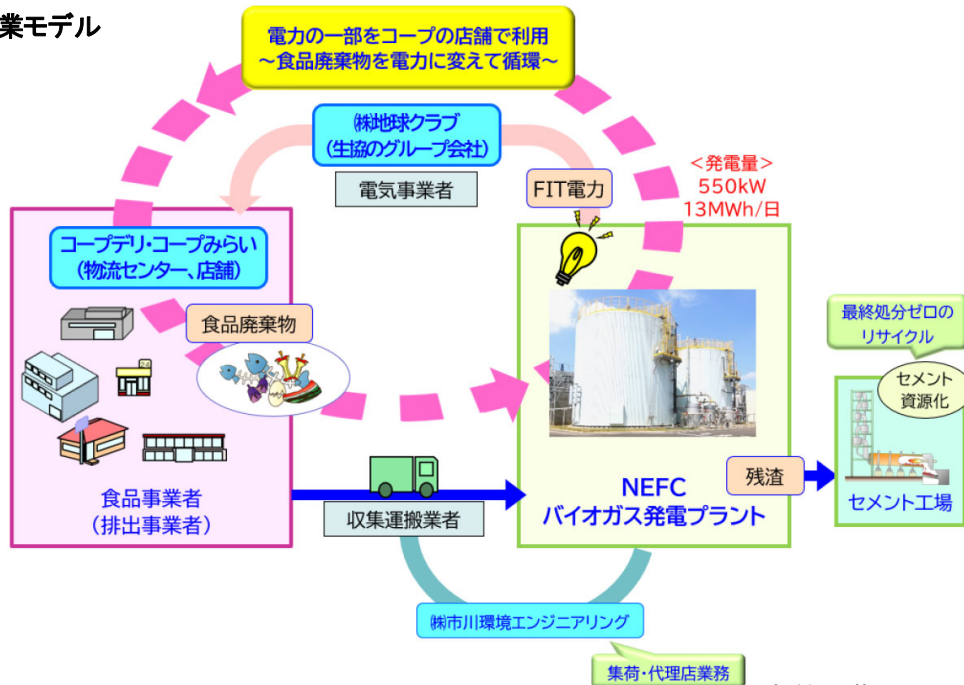
2020年12月1日

食品廃棄物から再生可能エネルギーを創出、活用する循環型リサイクルシステム
**12月1日（火）より、食品廃棄物を原料とした
バイオガス発電による電力の調達を開始**

生活協同組合コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:新井 ちとせ、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)、コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋 敏夫)は、ニューエナジーふじみ野株式会社(所在地:埼玉県ふじみ野市、代表取締役:天海 泰成、以下「NEFC」と株式会社地球クラブ[※](所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長:尾辻 雅昭)が「再生可能エネルギー電気特定卸供給の承諾等に関する契約」を締結したことを受け、12月1日(火)より、食品廃棄物を原料としたバイオガス発電による電力の調達を開始いたします。

NEFCは、三菱マテリアル株式会社の連結子会社として2018年5月に設立され、2020年9月4日よりバイオガス発電プラントの営業運転を開始しています。コープみらい、コープデリ連合会は、2019年10月にNEFCへの出資を行い、地域における再生可能エネルギーの創出・調達に参画いたしました。NEFCで創出する再生可能エネルギーは、株式会社地球クラブを通じて、コープみらい、コープデリ連合会に対して供給されることとなり、食品廃棄物から再生可能エネルギーを創出し、得られたエネルギーを排出元へ供給するという循環型リサイクルシステムの構築が可能となります。

コープみらい、コープデリ連合会ではこの電力を、店舗、宅配センター、物流施設等の電源の一部として活用するほか、『コープデリでんき』のFIT電気メニュー(再生可能エネルギーで発電されたFIT電気を約95%使用)として組合員に供給いたします。

■NEFCの事業モデル

※株式会社地球クラブは、再生可能エネルギーの発電と利用を一体的に推進するため、2014年6月に日本生活協同組合が設立した子会社で、コープみらいをはじめ、各生活協同組合の事業所及び組合員を対象とした電気小売業を開始しております。(地球クラブ URL: <https://earth-club.co.jp/>)

コープデリ連合会及び会員生協では、エネルギーの活用においても「地産地消」を目指し、再生可能エネルギーの活用を推進して参ります。



NEFC バイオガス発電プラント全景

提供:三菱マテリアル株式会社

■ニューエナジーふじみ野株式会社 会社概要

| | |
|-------|---|
| 社名 | ニューエナジーふじみ野株式会社 |
| 設立 | 2018年5月30日 |
| 代表者 | 代表取締役 天海泰成 |
| 所在地 | 埼玉県ふじみ野市駒林 1033 番地 1 |
| 資本金 | 資本金100百万円 |
| 出資比率 | 三菱マテリアル株式会社 75% 株式会社市川環境エンジニアリング 20% コープデリ生活協同組合連合会 2.5% 生活協同組合コープみらい 2.5% |
| 事業内容 | 食品廃棄物等のバイオガス事業および発電電力販売事業 |
| 計画処理量 | 食品廃棄物40トン/日 |
| 発電出力 | 550kW |

生活協同組合コープみらい 概要

| | |
|-----------------------------------|--|
| 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5 | 【総事業高】 3,945 億円(2019 年度) |
| 【理 事 長】 新井 ちとせ(あらい ちとせ) | 【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都 |
| 【組合員数】 359 万人(2020 年 11 月 20 日現在) | 【ホームページ】 https://mirai.coopnet.or.jp/ |

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

| | |
|---|--|
| 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13 | 【総事業高】 5,596 億円(会員生協計・2019 年度) |
| 【理 事 長】 土屋 敏夫(つちや としお) | 【ホームページ】 https://www.coopnet.jp/ |
| 【組合員数】 512 万人(2020 年 11 月 20 日現在) | |
| 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、 コープにいがた、コープクルコ | |